

■石田幹之助 東洋史学者。モリソン文庫(のちの東洋文庫)設立以来、その運営に尽力、今日の蔵書の基礎をつくった。

いしだみきのすけ

大津事件・1891= 千葉市で、忠三・房子の長男に生まれる。

日清戦争始・1894= 3歳 :

ビヲ/国産化・1900= 9歳 :

日露戦争終・1905=14歳 :

伊藤博文暗殺1909=18歳 :

私立麻布中学,

明治天皇没・1912=21歳 :

第一高等学校を経て,

民本主義・1916=25歳 : 東京帝国大学文科大学史学科を卒業。同学史学研究室副手,

ロシア革命・1917=26歳 : *岩崎久弥が時の中華民国大總統の政治顧問モリソンの蔵書を買収してつくったモリソン文庫(のちの東洋文庫)設立以来、主任としてその運営に尽力,

本格政党内閣1918=27歳 :

原敬首相暗殺1921=30歳 :

護憲三派圧勝1924=33歳 : *モリソン文庫を拡充発展させ財団法人とした東洋文庫主事として、その経営に引き続き尽力,

治安維持法・1925=34歳 : 東亜研究講座「欧米支那学界現況一斑」,
財団法人国際文化振興会嘱託、同理事等を経て,

金融恐慌・1927=36歳 :

博覧強記、その研究はアジア史のあらゆる分野に及び、著書・論文等の総数は4百に達しているが、中でも唐代の文化史、特に同時代を中心とする東西文化交流史に優れた業績を挙げた。

満州事変・1931=40歳 :

五一五事件・1932=41歳 : 「欧人の支那研究」。日本大学教授,

帝人疑獄事件1934=43歳 : 岩波講座「西洋人の眼に映じたる日本」。***この年まで続けた。**

_60万冊を超える今日の蔵書の基礎をなす蒐集は、氏の努力に負うところが最も多い。

二二六事件・1936=45歳 :

日中戦争始・1937=46歳 :

日米開戦・1941=50歳 : 「長安の春」,

..... 1942=51歳 : 「欧米に於ける支那研究」。国学院大学教授となる。

敗戦..... 1945=54歳 : 「南海に関する支那史料」,

新憲法公布・1946=55歳 : 日本大学教授に転任,

樞東裁判決・1948=57歳 : 「唐史叢鈔」はそうした唐代文化の研究をやや平易な形で述べた論考を収めたものであるが、一方、欧米・中国を中心とする諸外国の東洋学の研究や著名な学者の業績の紹介も、その力を尽くしたところの一つで、この年の「欧人の支那研究」をはじめとする関係の著述が多い。

独立回復・1951=60歳 :

自衛隊発足・1954=63歳 :

美智子妃・1959=68歳 : _文学博士,

安保闘争・1960=69歳 : _日仏文化交流に対する貢献を高く評価され、フランス政府から勲章を授けられる。

全国総合計画1962=71歳 : 日本大学教授を退任し、再び国学院大学教授になる。

TV宇宙中継始1963=72歳 :

東京リビウ 1964=73歳 : 東洋史学の発展に尽くした功績により紫綬褒章,

いざなぎ景気1966=75歳 : 勲三等瑞宝章を授けられた。

震ヶ関ビヲ・1968=77歳 : _日本学士院会員に選ばれ,

日中国交回復1972=81歳 :

石油ショック1973=82歳 : 「東亜文化史叢考」に収められた37篇の論文には、題材の多様さと論証の精密さが良く示され,

角栄金脈辞任1974=83歳 : *東方学会会長になってまもなく、急性肺炎のため、自宅で、没した。